

## 平成20年度 TA 活動報告書(前学期)

T A	2 回生	学校臨床心理専攻	臨床心理学コース
TA 採用教員名	渡邊 弘純		
TA 採用授業科目名	生徒指導論		
採用延べ時間数	授業科目 A : 30 時間、 授業科目 B : 時間		

### 【TA 活用内容】

多人数教職必修授業において、小グループによる討論を行い、受講生と教員の双方向展開を企図した。

TA には、討論課題の設定、討論進行、及び討論のまとめの助力をお願いした。

短時間であったが、最終の授業において、講義も担当してもらった。

また、視聴覚機器の準備などについてもお願いした。

### 【TA 活用による教育的効果】

多人数教職必修科目の授業においても、小グループによる討論が可能であり、学生の能動的な授業への参加が生み出されることが示された。知識の定着においても有効であった。フィードバック用紙による回答から、何よりも、学生に好評であることが分かった。

多人数授業において、小グループによる討論を効果的に進める上で、TA の活用は欠かせないものであることを実感した。

TA の成長にとっても、このような機会を持てたことは良かったのではないかと考えている。

授業担当教員にとっても、TA による小グループによる討論の展開や視聴覚機器の準備は、余裕を持って授業を展開する上で、大変有効であった。

### 【TA 活用上の今後の改善点・課題等】

4 月当初の授業における小グループ分けなど、最も手間のかかる大変な時期に、TA 雇用ができないであろうか。

TA の拘束時間は、授業時間に加えて、討論課題について授業担当教員と検討し、それを準備する時間、討論結果についてまとめる時間などとなる。したがって、授業時間内外の短時間では無理で、最低 1 回 3 時間くらい必要である。

臨床心理学コース M2 の院生は、実習があり、就職活動でも時間が割かれ、当初計画した時間数の TA 従事が無理であった。改善する方途について苦慮している。